

レジメン名

R-ICE

出典

J Clin Oncol, 17:3776-3785,1999
Blood.2004;103:3684-3688リツキシマブ点滴静注適正使用ガイド2022年12月改訂
リツキシマブBS点滴静注「ファイザー」添付文書2023年9月改訂

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

リンパ系腫瘍

☐進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準

Ccr	10-50mL/min: IFM・VP-16を25%減量
	10-50mL/min未満: IFM・VP-16を50%減量
T-Bil	1.5-3.0mg/dL: VP-16を50%減量
AST・ALT	60-180IU/L: VP-16を50%減量
その他	肝・腎機能障害以外に用量変更はしない

投与中止の基準

ANC	1,000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
LVEF	50%以下		
Cr	1.5mg/dLを超える	Ccr	60mL/min未満
その他			

1クール期間 14-21日*

総クール数 3クール

(次のクールまでの標準期間)

※MSKCCでは14日毎、GORAL試験では21日毎

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
リツキシマブ*	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増*	d1
イホスファミド(イホマイド)	5000mg/m ²	NS500mL	24時間	d3
メスナ(ウロミテキサン)	1000mg/m ²	輸液100mL	1時間	d3(イホスファミド直前)
メスナ(ウロミテキサン)	3000mg/m ²	イホスファミド に同時混注	24時間	d3(イホスファミドに同時混注)
メスナ(ウロミテキサン)	2000mg/m ²	輸液500mL	12時間以上	d4(イホスファミド終了直後から)
カルボプラチン	AUC5 × (GFR+25) 上限800mg	5%糖液250mL	1時間	d3
エトボシド	100mg/m ²	輸液500mL	1-2時間	d2-4
※初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm ³ 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。				
【注意事項】 ・G-CSFを適宜実施 文献(J Clin Oncol, 17:3776-3785,1999、Blood.2004;103:3684-3688)では、最初の2クールではday5-12に、3クール目ではアフエレーシスが終了するまで実施された。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①アセリオ(1000)500mg+ボララミン5mg(15-30min) ②リツキシマブ375mg/m ² +生食適量(50mg/hrから漸増*) ③生食50mL(フラッシュ用)
day2 ①デキサート6.6mg+生食50mL(15-30min) ②エトボシド100mg/m ² +輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)
day3 ①アロキシ0.75mg/kg+デキサート9.9mg(15-30min) ②エトボシド100mg/m ² +輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③カルボプラチンAUC5+5%糖液250mL(1hr) ④生食50mL(フラッシュ用) ①ウロミテキサン1000mg/m ² +生食100mL(1hr) ②イホマイド5000mg/m ² +ウロミテキサン3000mg/m ² +生食500mL(24hr)
※イホマイド投与中、必要に応じて輸液500mL+メイロン7%20mLで尿のアルカリ化を図る。 ※イホマイド投与1時間前から投与終了の翌日まで1日尿量3L以上を確保。
day4 ①デキサート6.6mg+生食50mL(15-30min) ②エトボシド100mg/m ² +輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) ①ウロミテキサン2000mg/m ² +生食500mL(イホマイド終了直後から12hr以上)
内服 day2-4 アプレビタントカプセル
【注意事項】 ・G-CSFを適宜実施